

お知らせ

令和 3年 8月25日



国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所
(佐波川流域治水協議会事務局)

資料提供先

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

佐波川流域治水協議会から流域治水プロジェクト に関する**情報発信**をスタート！

佐波川流域治水協議会では、昨年度策定した「佐波川水系流域治水プロジェクト」を様々な方に幅広くご理解いただくために、独自の取組として「流域治水」の紹介やプロジェクトの最前線で働く方々からのメッセージなど、様々な観点から情報発信を始めます。

今後、継続して関連する情報の発信を行っていく予定です。

【発信内容】

- 第1弾となるこの度の情報発信では以下の内容を発信いたします。
(イントロダクション) 流域治水ってなあに??
(リレーメッセージ) プロジェクト最前線からの報告
(コラム) 重源上人生誕900年記念コラム 佐波川と重源上人
(コラム関連情報) 令和の重源さんと丸太筏で佐波川をくぐってみたの巻!

【広報ツール】

- 情報発信ツールとして以下の場所での配信を予定しています。
山口河川国道事務所 webサイト及びポスター掲示
国土交通省山口河川国道事務所@佐波川 twitter
佐波川流域治水協議会関係機関 Webサイト及びポスター掲示
流域内 小中学校 チラシ配布など
※今後の調整により変更となる場合があります。

【問い合わせ先】 国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副 所 長 (河川)

やまがた こういち
山形 浩一

【担 当】 河川管理課長

みつい しんすけ
光井 伸典

電話番号 (0835) 22-1890

【広報担当窓口】 計画課長

わた やすまさ
和田 康正

事業について詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>



ツイッターにて最新情報などを配信しています。

https://twitter.com/mlit_yamaguchi



佐波川の日々の情報をツイッターで配信しています。

https://twitter.com/mlit_sabagawa





流域治水ってなあに??

まもる君



これまで河川管理者が主体となっていた治水対策に加え、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、その流域内のあらゆる関係者が協働し行う、水害を軽減させる治水対策のことを「流域治水」といいます。

みんなで力を合わせて大雨に立ち向かう
「流域治水」に取り組んでいます！



流域治水のイメージ

もっと詳しく知ろう！



流域治水プロジェクトとは
国土交通省

https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/index.html



佐波川水系流域治水プロジェクト
国土交通省山口河川国道事務所

http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/river/ryuiki_chisui/index.html



発行者・お問合せ先等
国土交通省山口河川国道事務所

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/information/form.html>

私の現場と 流域治水プロジェクト

プロジェクト
最前線からの報告
第1弾

(佐波川の流域治水プロジェクトの最前線でがんばっている方に、仕事・取り組み内容や流域治水を進める上でみなさんへのメッセージをお聞きしていきます。(聞き手：山口河川国道事務所))

重源上人ゆかりの歴史と伝統の森

なめらやまこくゆうりん

滑山国有林 を後世に

滑山国有林の森林整備事業

吉川林産興業株式会社

山林事業本部長 中村信利さんと 現場代理人 前田務さんのお話

担当者の声



前田さん

問：滑山国有林ではどのような仕事をしていますか？

滑山国有林は山口県下最大の国有林(約2,500ヘクタール)であり、かつて東大寺再建用材を伐り出すなど古くから林業活動が盛んでまさしく「歴史と伝統が息づく森林」です。当社ではこの滑山国有林の森林整備事業として、主伐・搬出間伐・保護伐・保育間伐・植付・食害防護柵・単木保護・歩道修理など森林管理のすべてを請負事業体として行っています。

問：滑山国有林は他の森林と違ってどのような特徴があるのですか？

県内の他の森林整備と比べて佐波川上流の滑山国有林はどう違うのか、あまり意識したことはありませんが、良材といって緻密な真つすぐな材がよくとれるところかなと思います。滑松(なめらまつ)は有名で大切にされていますね。

また、伐採したところは必ず植林を行うこととなっているのもこの特徴でしょう。細心の注意を払いながら森林管理を行っています。

問：現場ではどのような雰囲気です仕事をされていますか？

現場は下請け業者の方も含めて4~5人で作業を行っています。林業は危険と隣り合わせであり、緊張感もありますが、少人数ならではのチームワークで楽しく、また、やりがいのある仕事です。

問：流域治水の取組として、滑山国有林から皆さまに伝えたいことはありますか？

大雨に強い森は常に新陳代謝を大事にしていると思います。伐採斜面も伐採木の根っこは残し、根っこの間に苗木を植え、伐採しながら新たな根っこを育てていきます。なんだか我々会社(組織)にも通じているようです。いつの時代もお年寄りを大事にしながら若者を育てる、重源上人の時代の森林整備はどうだったのでしょうか。

幸いにも私たちの会社は若い世代が育っています。20代、30代の若者と交わりながらいろんなアイデアを出し合い作業をしています。

今後も佐波川の最上流で健全な森林づくりに協力します。

森林の有する災害防止機能も万全ではありません。みなさんで出来ることを進めてみましょう。



スイングヤーダ(旋回ブーム式タワー付集材機)による伐採木の収集運搬



木材運搬の昔(左の佐波川)と今(林道)奥は滑山国有林

もしも 森林が荒廃すると



森林の持つ保水機能や樹木の根っこの持つ力が弱くなると山が崩れ、左の写真のように土石流が発生したり、右の写真のように流された木が川に出て橋にひっかり大きな被害につながってしまうことがあります。(写真は平成21年7月21日の佐波川流域内の災害事例です)

お話しポイント

適切な森林管理を行うことで土砂崩れの防止や下流の佐波川の氾濫を防ぐことにつながります。

もっと詳しく知ろう!



国有林の管理について
林野庁近畿
中国森林管理局

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



国有林(山口県内)について
近畿中国森林管理局
山口森林管理事務所

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/yamaguchi/>

重源上人生誕900年記念コラム

佐波川と重源上人

まもる君



今年、佐波川流域の発展の礎を築いた俊乗房重源上人（しゅんじょうぼうちようげんしょうにん）の生誕900年にあたります。重源上人は平安時代に奈良の東大寺再建のため佐波川上流の滑山から木材を調達するために朝廷から派遣された方で佐波川を使って木材を運搬したことで知られています。

そこで「佐波川水系流域治水プロジェクト」を考えるにあたり、上人の功績と足跡を振り返りたいと思います。

（しゅんじょうぼうちようげんしょうにん） 1121年生誕－1206年没
（享年86歳）
宋（中国）に3度も渡り、
仏教や土木建築技術を学ぶ

俊乗房重源上人



現存する関水（徳地）

重源上人は、平安時代末期の源平の争乱で焼失した東大寺の再建のため、65歳のときに周防国国司（今の知事）として防府にやってきました。

そして、佐波川上流の徳地の山奥に分け入って巨木を切り出し、佐波川を使って瀬戸内海まで運搬するために、河川の浚渫を行ったり、川の水かさを増すための関水※（せきみず）を造ったり、河口部で2本に分かれていた川の一方をふさいで一本の流れにしたりと数多くの事業を行いました。佐波川ではじめて大規模な治水事業を行った人といわれています。

また、上人は作業員の心身のリフレッシュのために石風呂を設けるほか、建築物では周防阿弥陀寺の建立や徳地にある月輪寺（県内最古の木造建築）の建立も行うなど、佐波川流域の経済、福利厚生、仏教信仰などの分野に大きな功績を残しました。

関水とは？

今から約800年の昔、広い道路はありません。切り出した材木の運搬は河川を流すほか無く、たいへんな苦勞が伴いました。

関水とは、川の水の浅いところに堰（せき）を設けて水嵩を増した水路のこと。佐波川各所に118箇所も造られたと伝えられていますが、その多くが洪水などにより破壊され、当時の面影があるものは1箇所のみが現存しています。



関水のイメージ

上人が去った後も徳地の木材はその質が良かったため、引き続き京都や県内の寺社建立の材料としても使用されました。

そのため、関水も一過性として作られたものではなく、その後もずいぶん木材の搬出に使われていたようです。

この関水はその後、佐波川流域の田畑の開発により、堰の一部として使用されていくこととなりました。

（次回は今に残る重源上人ゆかりのスポットを紹介します）



ブレイクタイム

佐波川の由来

巨木伐採の職人から「魚を食べていないので精が出ません」と言われた重源上人が、そばにあった木片に「鯖」と書き、祈禱を行って川に投げると、木片はたちまち鯖になって泳ぎ始めました。これをとって食べると本当に鯖の味であったことから、この川を「さばがわ」と呼ぶようになりました。という伝説があるそうです。

もっと詳しく知ろう！



おいでませ山口
俊乗房重源上人の紹介
山口県観光連盟

<https://www.oidemase.or.jp/tourism-information/spots/12142>



時を超えた夢工房
重源の郷

<http://www.chogen.co.jp/>



佐波川と重源上人
国土交通省

https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon.kawa/0707_sabagawa/0707_sabagawa_01.html

佐波川流域のイベント紹介

もうすぐ開催!

重源上人生誕900年記念

令和の **重源** まるたいかだ さんが丸太筏で佐波川をくだってみたの巻!

佐波川流域の森林から運び出したたくさんのヒノキを
東大寺再建のために活用した**重源上人のスピリッツ**を引き継ごう



当日はこのような筏
と重源上人（役）が
見れる（はず?）

重源上人像
(山口市徳地堀)

佐波川の上流から切り出した丸太を筏に加工し、
重源上人に扮した現役のお坊さんを乗せ、若者達が
佐波川を約3.5km下ります。

開催日時 令和3年8月29日(日) 9:00~

当日スケジュール
9:00 山口市徳地八坂 廣瀬橋から丸太筏スタート
11:00 山口市徳地 出雲合橋付近 ゴール(予定)

主催・問合せ
山口県山口市徳地堀1817番地
徳地商工会青年部 則安または山本
tokuji@yamaguchi-shokokai.or.jp
TEL: 0835-52-0026
FAX: 0835-52-1485

後援 国土交通省山口河川国道事務所

イベントの開催日・開催場所は令和3年8月24日現在の予定です。新型コロナウイルス感染拡大防止等により中止、延期、規模縮小になる場合がありますので、予めご了承ください。